

第7回久留倍官衙遺跡整備検討委員会 会議録要旨

1 日 時 平成25年8月27日(火) 13:30~16:00

2 場 所 総合会館4階 会議室

3 出席者(順不同・敬称略)

【委員】

山中章(委員長)・黒崎直(副委員長)・伊藤久嗣・岡田登・中森ゆき子・箱崎和久・中川ゆかり・古市立美

【アドバイザー】

久留倍遺跡運営委員会 西脇壽郎(副会長)

三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課 竹内英昭(班長)・石井智大(技師)

【事務局】

寺村明彦(副教育長)・伊藤幸子(社会教育課長)・大島光信(社会教育課長補佐)・

葛山拓也・石毛彩子・清水政宏・門井恵理

4 傍聴者 1名

5 会議録(要旨)

(1) あいさつ

副教育長挨拶 委員の先生方にはお忙しいところありがとうございます。本日は報告事項として史跡地の実施設計、オープン後の管理運営、9月の文化庁復元検討委員会への提出資料の報告、ガイダンス施設の実実施設計の協議をお願いします。

(2) 報告事項

①史跡地の実施設計について

事務局 史跡地の実施設計についての報告

A 委員 B 委員が前回言っていた掘り方に合わせて写真を焼くというのは組み込んである。

B 委員 よろしいです。

A 委員 説明板がアルミに焼き付けてあるが、これは5年も経てば剥げる。犬山市青塚古墳でもアルミを使っているが剥げている。お金の問題もあり、どうかと思うがアルミではまずいのではないか。

事務局 耐光性の加工はする。考え方として、消えていたら予算化し修理をする。他の遺跡と同様、久留倍もそのようにする。説明板なので研究が進み内容が変わる事も考慮し、ずっともつ物より変える事ができることを重視している。

A 委員 確かに文面がずっと変わらないというのもおかしい。担当が変わった時にお金が無いからやらないという事にならないように重要事項として引き継いでほしい。

C 委員 史跡の維持管理だが、委託するにしても自主的にしてもできるのか。実施設計だから経費、金額を入れて柔軟性を持たせて検討してほしい。

事務局 実施設計も終わって概算も出ており、足が出ている状態だ。

D 委員 P9の正殿の建物のラフスケッチは担当文化庁がこれで大丈夫だろうという事か。

事務局 はい。

D 委員 基礎がだいぶ下に入るようだが遺構との兼ね合いは考えてあるのか。遺構面との取り付けは十分検討しているのか。

事務局 正殿については1mの盛土予定だ。根拠は正殿の南側は無くなっている状態で、そ

こから柱穴との大きさを考えると元の地盤は1 mくらい上だったであろうという判断だ。

D 委員 遺構面は絶対に傷つけないようにしてほしい。P 7の水が出る場所は必要だが5年くらい経つと壊れているところが多い。本当にここに必要なのか。

事務局 庁内、公園関係の部署とも相談し、壊れにくいものを検討していく。

D 委員 説明板・大の高さだが180 cmとはものすごく高くないのか。読んでいて向こうの景色も見られない。

事務局 この高さは小学校3年生程度以上の身長の方が見ることと、多くの人が集まって見るとなると高い方がいいのではないかと。場所的にはそんなに邪魔にはならない位置で考えている。

D 委員 遺跡の中なので説明板の高さは大丈夫か。

事務局 遺跡内に大きいものを立てる予定はない。高さも含めて実際施工する時に検討する。

A 委員 正殿の復元で上の部分、ガラス板で鳥の侵入を防ぐという事だが、風船状になるのではないかと。その辺は設計業者と打合せをした方がいいのではないかと。

事務局 現在、設計業者に聞き、風速等が耐えられるか検討している。先生方で不要だという意見なら取って、中が明るくなる状態にする。

A 委員 維持管理の問題だ。鳥の侵入についても人が注意していけばいい。施設を造ったから大丈夫というものでもない。ガラスも傷んで見にくくなるだろうし、落ちてきたり、飛んでいかないかが心配だ。いらぬものはつけない方がいい。

B 委員 遺跡石柱だが一段上に乗せるとかもっと権威があった方がいいのではないかと。

事務局 検討する。

A 委員 史跡と遺構と重ねて立体に見せる透明板はかすれてきて、汚くなるのではないかと。割られたりしないかと。バーチャルとの兼ね合いはどうか。

事務局 バーチャルの検討は今回報告できない状態であり、それ次第で透明板は無しになるかも知れない。

A 委員 透明板に関してはいろんな意見があるだろうし、一ヶ所だけなので使いにくい。個人的にはいらぬ。ベンチは木だと腐るが石ならいい。

E 委員 手洗い場が学校からの遠足で手を洗うとなると少ない。4、5クラスが手を洗うのに時間がかかる。説明板・小の角が丸くできなかったという事だったが、風が強い時など走り出した子どもが風にあおられ急に止まれない。海の方に向かっていて止まられずにぶつかってしまう。3歳くらいの子供はよく転ぶし、説明板・小はちょっと心配だ。

事務局 海に背を向けて見る物が多いが、位置を変えるという対応で検討する。

A 委員 普通の公園に説明板は立っていない。遺跡公園だから説明板は仕方がないがそうすると角を丸めるとかの対策は必要だ。立っている物に当るのは仕方がないがそれが角ばっているから怪我をしたとなると問題だ。水道も遺跡の中なので増やすというのはどうか。水撒き用のものを代用できないか。

事務局 散水栓が沿路沿いにあるため設置は可能だ。

A 委員 低学年が手を洗うということは考えていなかったが景観を考えて欲しい。

②管理運営の考え方と利活用について

事務局 管理運営の考え方と利活用についての報告

B 委員 万葉集の関わりもあることだから和歌を詠もうとか四季に合わせてやってほしい。お月見会や七夕など夜のイベントだけではなく、朝が明ける朝明だ。朝明郡衙の可能性を考えて日の出の太陽を拝むイベントや壬申の乱に関するイベントなど朝のイベン

トを考えて欲しい。東面している意味を考えて欲しい。

- F 委員 七夕、お月見だが旧暦でやってほしい。今では季節が合わない。
- C 委員 基本的に教育委員会がイベント案を作り、維持管理も全部含めて教育委員会が行うのか。
- 事務局 全体的なことは教育委員会だが、それぞれ中身については市民、ボランティアに委託するのか、一番いいやり方を検討したい。
- C 委員 体験プログラムだが基本計画よりはだいぶ減った。学芸員を配置するという計画だったがオープン時想定で学芸員何人、臨時職員何人なのか。最初からボランティアは含めるのか。指定管理を含めた委託、管理運営方式とあるが指定管理を含めたとなると受ける方が法人か。大矢知の運営委員会は法人になっているのか。
- G 委員 法人になる時期を検討中。
- C 委員 委託を受ける方もきちんとやらなければならない。職員の配置もどうなるのか。
- 事務局 事務も含めた委託と、市の職員 2 人程度、臨時職員 1、2 人、市民・ボランティアで運営を考えている。
- F 委員 学芸員込みか。
- 事務局 まだ決まっていないが、教育委員会案では込みだ。
- A 委員 犬山市青塚古墳の NPO 法人の遺跡管理だが、四日市も参考にしてほしい。やっているのは愛知県埋蔵文化財センター職員だ。他にも周辺の埋文の職員や、今年から名大出身の 2 人がイベントなどを企画して動かしている。NPO でも草刈のボランティアではない。市が積極的に人間を確保していかなければ大変だ。利活用で学校が使うというのは教育委員会っぽい考えだ。ベースとして必要だが、それ以外の人が利活用していくかが大切だ。どう積極的にパワフルに動くか。犬山の NPO は市からの補助金確保からやっとならぬ人から理解されてきた。四日市ももっとリアルに見て回り、具体的な意見を聞いて考えた方がいい。
- H 委員 基本的に日常でやればいいが、日常でないプログラムを考えている。基本は公園がいつでもきれいである事が前提だ。日常的にどんな事をするのか具体的に考えていかなければならない。草刈をどの頻度でやるかなど。
- D 委員 憩う事のできる公園の取り組みがちよっと弱い。学習プログラム小学校 3 年で出てくる森の生き物、動物だが植栽計画で周辺にどういうものを植えていくのか、どの程度の森を作っていくのか。草は何を植えるのか。四季折々のものが希望だが、管理の問題も出てくる。環境、植生、草木も早いうちに決めて欲しい。
- 事務局 実施設計の植栽で万葉の植物、根が深く張らない、枯れにくいなどの要望を含め進めている。文化財保護審議会の天然記念物の先生に相談し考えていく。
- B 委員 高校との関わりを積極的に行い、アプローチも必要だ。高校生が市、県を離れる時に四日市を誇れるものにしたい。教職員研修だけでなく、市役所内のレベルを上げる市役所全体の職員研修として久留倍遺跡が四日市としてどういう位置づけなのか理解してもらおう。理科、社会など教員退職者にボランティアとして入ってもらうなど地元の方を活用する流れをオープンまでに組織作りをしないと運営できない。
- C 委員 教育委員会がメインでやっているが図書館、博物館、運営委員会とさらに提携していかなければいけない。ガイダンス施設にたくさん子どもに来てもらうために参考図書など細かい配慮が必要だ。博物館も利用方法を考えた方がいい。桑名・鈴鹿・亀山・四日市の先生方が集まる北勢四市の文化財協議会は四日市、久留倍が中心となって連携し遺跡等の活用、イベントを提案してほしい。来年オープンの県立博物館との連携も市から提案していく。観光についても市外県外との関連を強める。1 日バス旅行など硬く考えず他の施設と絡めてやっていく。

G 委員 運営委員会として現在は草刈を週一回やっている。将来どうなるかわからないが現状はこんな感じだ。教職員を退職して運営委員会に入っている人も4、5名おり、会の中で勉強会をやってもらっている。教頭、校長のOB会にも声かけしている。県外からも見学に来ている。いつでも見てもらえるようにきれいにしている。

A 委員 人材確保の問題もあるが、案が実現するように頑張ってもらいたい。教育委員会だけではできないこともある。ボランティアの協力が必要だ。3年間で研究し、より具体的に検討してほしい。

③復元検討委員会への資料提出について

事務局 復元検討委員会への資料提出についての報告

H 委員 遺構に忠実にということで、南側の柱の位置が建物が直角にならない。柱の位置を忠実に、南側の柱の筋が開いた感じで直線状にしているが、これで忠実と言えるのかどうか問題だ。現状では1番中途半端なところに落ちているように感じる。建築から考えると縦横直角に建つのが一番だが、どういう復元を考えていくか根本的なところが問われている。柱筋の通りが良くない。このような復元していく例があまりなく、先駆的な事例になるだろう。考え方をもう少し整理した方がいい。いろんな前例として取り上げられる非常に重要な復元になる。

A 委員 南側の柱の並びはこれでいいのか。柱の端を繋いでいくと直角に近づくのではないか。

事務局 昨年から検討しているが南側の柱根に乗せようと思うと直角にはできない。

A 委員 これで復元検討委員会は通りそうなのか。

事務局 調査官からはこんなにずれているのなら直角に考えなくてもいいのではないかと意見をもらっている。

D 委員 発掘は柱根が残っていたとしても建った位置から動くことがある。平城京でもそう。建物というのは四角く造っているはずだ。地震や地盤がずれた結果ではないか。だいぶ問題になり絶対そうなのか、なぜこういう建物を建てたか説明が求められる。

事務局 久留倍遺跡の場合、正殿は外側は四角いが中の柱配置がいびつだ。動く範囲も超えている。

D 委員 これは正直過ぎる。当時こういう建物を建てた意味やそれを久留倍の特徴とする説明が大変だ。

H 委員 柱が傾いているものは内転びという古代の技法としてある。薬師寺東塔を修理しているが全体的に傾いている。現代も中国、韓国でもある。久留倍でそういう事が考えられるかという問題はあるが断割りしたらわかるかも知れない。現在の資料では断割りをしていないからわからない。忠実にやっていくのであれば柱位置を出てきた通りに合わせて、上のほうで繋いで調整していく方法がある。現在の図面は南だけ重要視して開くようにしてあるため、非常に中途半端だ。地面は動かないと思っているかも知れないが地面は動く。平城京でも盛土の部分が経年変化で1300年くらいで地すべりがあった。ボーリングなど地質調査の結果、軟弱地盤があったことがわかった。整備をする時は当初は真っ直ぐだったと想像し、真っ直ぐ復元している。証明するには時間的にも費用的にも学術的にも大変時間もお金もかかる。なぜ曲がっているかを解明しようとするればそれなりのことをしなければいけない可能性がある。

B 委員 南北軸は直線だが東西軸が動いている。1.2尺ちがう。自然にこんな綺麗に歪むのかという気もする。丘陵全体では埋め立てた形跡もないし、経年変化なら東西軸だけではなく南北軸も変化するのではないか。東西だけというのはきれい過ぎる気がする。

D 委員 これで出すのか。違うと思うが。

H 委員 文化庁に聞いたが全体で整備検討委員会は3回くらい行う。1回目で遺跡全体の話と全体の整備計画、その中で八脚門の復元と正殿の立体表示を話し、2回目で復元の図面を出し、3回目で修正すると思っていた。先週半ばに1回目でこれを出すと聞いた。出して蹴られてしまうと次に出せなくなるので、その辺は慎重にした方がいい。

事務局 過去に平面図、立面図を出せと言われて用意した。修正をかけたが不要なものはないという事だった。

A 委員 本委員会では歪んだのはどうかという意見が出ているので、3回あるなら今回は1枚目の図面を外してはどうか。この図を見るとかなり歪んでいるようだが、現場ではそんなに目立たない。叩かれた時に委員にも責任がかかる。ぜひ今の意見を考慮して欲しい。

事務局 確認だが1回出して蹴られたら出せないというのはどういうことか。

H 委員 同じ案は出せない。訂正した案を出すか積極的な理由が必要だ。現状ですべて書き尽くしてあればいいが、そうでなければ2回目は出しにくい。

事務局 復元はしたいが今はこう考えている、指摘を受け考え直しこちらの案でいいのはいいか。

A 委員 例えば真っ直ぐで案を出して、復元検討委員会の先生に曲がっていると指摘してもらい、だから直すと言う方が説明しやすい。

H 委員 我々が検討委員に説明するのではなく、文化庁の調査官が我々の出した資料に基づいて説明するため調査官が知らない事については説明できない。調査官が積極的に説明することはない。

事務局 文化庁とどこまで出すかを再度調整する。

H 委員 平城宮跡の建物を今回、奈良文化財研究所は復元検討委員会に出す。本当かどうかはわからないが今回の整備検討委員会は半日で5件ほど協議する。1件1時間ないため細かい話はできない。大雑把なところで軽く蹴られないような案にしていくのが作戦としてはいい。奈良文化財研究所の資料も細かいところまでは見ずに突っ込まれそうなところは軽く流す作戦だ。今回は全体を把握してもらうことが必要だ。

C 委員 P2の遺構図が目立つ。

H 委員 資料としてこれは3で、この前に1と2がある。久留倍官衙遺跡の紹介や発掘説明の前に10ページほど入る。それをメインに持っていけばいいのではないか。

C 委員 その場合、P2の遺構図を資料から外すのか。

H 委員 線を引かない状態で遺構だけを残す。

D 委員 柱は紫色で書かれているが、これで間違いはないのか。掘り方の中で柱が動いたとは考えられないか。

事務局 調査成果としてはそうだ。当時は断割りをしていない。遺構がはっきりしており保存するという事で掘らなかった。指導委員会の経緯では、調査の中で復元をしていく話も出ている。

D 委員 当時、柱筋が通っていないと全員が共通認識していたのか。

事務局 柱根で線を引くと歪むというのは認識していたが、当時は歪んで線は引かないのではないかという話だった。

D 委員 柱根で結ぶと歪むが、建物は四角いという認識ではないか。

事務局 記録を読む限り復元は市が発言しているが、歪んだ形か四角い形かの議論はなかった。

H 委員 他もずれているから、忠実にやるなら柱位置に建てて柱を傾けながら建てる。

B 委員 柱掘り方の中で柱根を動かして真っ直ぐに並べていけるようにしてはどうか。

H 委員 計画の寸法はわかるのだから。

- 事務局 文化庁と調整していく。P 13までが説明になるためそれ以降は調整する。歪んだまま出すのか再度調整する。
- A 委員 委員としてはこういう意見が強い。今回はこの資料を出さないか真っ直ぐにするかそれで出すべきだと思う。委員の意向がまず大事だ。教育委員会としても従ってほしい。後で問題になった時に責任がとれない。
- 県教委 十分に議論して、文化庁と県と市で頭出しとしてどのような事ができるのか話を合わせて、今回の復元案については決定案ではなく検討中だと伝えるというのでどうか。
- A 委員 今の委員会の雰囲気伝えてもらってその上で意見がほしい。
- 県教委 次回の復元検討委員会にしっかりしたものを先生方の判断も含め出していけるようにする。スケジュール調整をする。調査官との打合せもする。
- H 委員 寸法が入っていると平面図は具体的過ぎて設計がだいぶ進んでいるイメージを与える。寸法を抜いてこういう建物を建てたいとした方がいいのではないか。平面・立面・断面図を1枚にまとめて出せば現在検討しているように見える。
- A 委員 そうしてください。

(3) 協議事項

ガイダンス施設の実施設設計について

- 事務局 ガイダンス施設の実施設設計についての報告
- F 委員 万葉集の世界、行幸の時に宴が開かれこのような歌が詠われたというところが興味をもたれると思う。そこら辺は具体的な立体的なものを作り展示するというのは決まっていないのか。
- 事務局 今回はテーマを決めて、万葉集の世界を入れていいのかも含めて意見が欲しい。このテーマでよければ次の段階で模型やパネル、写真について考える。
- F 委員 たくさん項目があるが場所が狭い。その辺はどうするのか。例えば模型を作り、家持や天皇が歌を詠んでいるものができればいいと思う。多いがどうやって実現していくのか。
- 事務局 量は詰め込んであるので削っていききたい。展示パネルの入れ替えを可能とすることでリピーターに何度でも来てもらえるようにしたい。
- F 委員 パネルにするのか、具体的な人形、立体模型を作るのか、どれくらいできるのか。パネルだけなら量的にもできるのではないか。
- 事務局 基本設計等に入っているのが模型としては久留倍の編成としてⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期の模型を作る。
- F 委員 来館者数を伸ばしたければ万葉集を入れるべきだ。遺跡の変遷はいいが、ポイントを絞って力を入れていった方がいい。
- B 委員 模型が作れないとなると久留倍と万葉集を映像展示でしっかりしていく。そういう仕掛けをしないと久留倍の価値が半減してしまう。万葉集の歌1首あるだけでも人々を集める力がある。
- A 委員 研修室としても使うなら机を並べたりする。片付ける事も考えるとあまり立体的なものではできない。
- F 委員 壁面には置けるのか。
- A 委員 それは片付けなくていいのか。そういう前提で中身をどうするのかということか。
- 事務局 壁面のものは片付けない。
- E 委員 資料に小6から対象にするとあるがどういう意味か。
- 事務局 社会科を習うのが小6からという事で対象に上げている。
- E 委員 学習カリキュラムと合わせてという事か。資料の運営のところでも小4、社会見学と

- なっているが見れる内容にはなっているのか。
- 事務局 ガイダンスは見てもらい解説をつける。展示パネルは小6以上の文章で作るという事だ。
- A 委員
事務局 小4以下でも体験学習やイベントを組み合わせで対応するという事か。
 その通りだ。
- H 委員 展示パネルの入れ替えをするのはわかるが、丸ごと全部入れ替えるという事か。特別展として常設展とに分けるということか。これだけは残しておかなければいけないものもあるだろう。どういう事を基調にして展示するのか。根本になるもの、常設展にあたるものを固めていかなければいけない。
- 事務局 常設展として1本道を通し、枝分かれしていきたい。
- D 委員 大きな3つの分け方はいいと思う。入口導入の部分で久留倍がどういうものか、奈良時代がどういう遺跡で久留倍遺跡はどういう遺跡かをわかるようにした方がいい。詳しくは次へ次へと見ていくようにする。地元の人にはわかるかもしれないが、飛び込みの人がずっと読めて古代の郡衙についてやどういう遺跡かを簡単にわかるようにするといいいのではないか。
- C 委員 入口の部分、説明、映像、体験の中で官衙の時代だけじゃなく、弥生時代など他の時代もあるということを入れてほしい。
- D 委員 万葉集も入口の部分で触れた方がいい。全体の事がわかるように軸だけでも並べておく。
- B 委員 朝明郡の郡衙とは出てくるが、言葉として史上には久留倍官衙遺跡は出てこない。久留倍官衙遺跡がどういう遺跡かを説明して国史跡になったと、そこから万葉集の絡みや弥生、もっと前の旧石器時代のものも出ているとガイダンスの最初で入れて、国史跡になった特色の文を入れた方がいい。
- 事務局 入口にトピック的なものを作る。ここで言う史上とは年表を作りその中に久留倍官衙遺跡を入れるという意味だ。官衙遺跡だけではないがここは久留倍官衙遺跡のガイダンスという事もあり絞って考えている。博物館がリニューアル予定であり、そこで弥生時代、古墳時代を含めて展示を考えているという事で連携を取りながら考えていく。土器や関係品など本物を触ってもらえる事も考えている。そこで弥生時代、古墳時代についても触れていき、ミニ展示も考えている。
- B 委員 施設の正式名称はどうなっているのか。久留倍官衙遺跡資料館とか。
- 事務局 名前については今後協議し、看板等も作っていかなければいけないため、次回また考えたい。
- H 委員 コンパクトにまとめなければいけない。全市的な部分についても、特別展に相当するようなものとして展示パネルの入れ替えも含めて考えていく。官衙遺跡をメインに考えて、絶対引いてはいけないものを考えていけばいいのではないか。
- B 委員 映像展示はどのように運営していくのか。時間で映像なのかボタンを押すと流れるのか、別室じゃないため子どもたちがガヤガヤしてどちらも聞こえない。プログラムをたくさん考えておけば展示しなくてもいいのではないか。
- 事務局 大きなスクリーンで見てもらう。TVにするかプロジェクターにするのか検討中だ。講座などでスクリーンも利用したい。ボタン式にするか流しっぱなしにするかガイダンスの管理者が流すかは検討中だ。
- B 委員 ライトは絞るのか。そのまま見るのか。
- 事務局 明るくても見れるものを調べている。
- A 委員 パワーポイントで職員でも作れるものをいっぱい作っておいて、人によって選択して流す。映像展示を自分で選べるようにしてもいい。博物館と連動してこれより詳し

い事は博物館へとすればいいのではないか。

F 委員 人形を作り、やボタンを押すと歌を詠むなど目と耳で楽しむ。高岡市万葉歴史館で疎水文書の一場面が作られており声も流れる。素人受けしておもしろい。歌だから家持がそこにいてボタンを押すと万葉集が流れるのも面白いのではないか。

事務局 音は子どもたちを含め喜ぶだろう。検討する。

A 委員 具体的なものについてはたくさん出てくるため今後絞っていく。今日はこの大きなテーマ1、2、3で合意した。

(4) その他

アドバイザーA 久留倍遺跡の活用方法について久留倍の森の生き物を観察するとあったが久留倍遺跡だけでは範囲が狭い。久留倍遺跡の北側、長倉神社が里山、鎮守の森となっている。それも合わせて学んでもらえると地元としてはうれしい。

C 委員 防犯カメラの映像はガイダンス施設の事務所で見れるのか。それを見る人が4、5人は必要になるのではないか。

事務局 防犯カメラは入口だけだ。その辺の運用はまだ検討中だ。

今年の秋はいろいろな先生方の久留倍関係の講座がある。(各講座の説明) 秋には久留倍イベントが多くある。

次回の日程調整。

課長挨拶 今後も利活用について、管理、運営についても意見を頂きたい。29年のゴールデンウィークにはたくさんの人に来ていただけるスタートをきりたい。今年から整備ニュースを作っていこうと考えている。北勢地区には配りたい。これから3年ほど順次やっていきたい。